

# ホテルグランテラス帯広

令和7年3月現在

業種：ホテル業  
社員数：59名



住所：〒080-0011  
帯広市西1条南11丁目  
電話：0155-27-0109  
FAX：0155-27-1016  
H P：https://breezbay-group.com/hgt-obihiro/  
事業内容：宿泊・宴会・レストラン

## 【企業歴史と沿革】

昭和57年6月に帯広東急インとして開業。その後平成22年4月にブリーズホテルに経営移管し、以後5年間は東急ホテルズとフランチャイズ契約となりました。平成27年4月にホテルグランテラス帯広へ名称変更しました。帯広駅から徒歩3分の駅前ホテルでありながら、多彩な宴会場を完備し、人気観光地へのアクセスも抜群のホテルです。

【障がい者雇用状況（R7.3月現在）】  
職員 59名（常勤換算 48名）  
障がい者雇用 5名  
障がい者雇用率 10.4%

## Interview

### 障がい者雇用を始めるまでの経緯

グループ本社より、企業内で障がい者雇用を推進していくために、積極的に客室清掃での雇用を進めていくよう指示を受けたことが障がい者雇用の始まりです。ハローワーク専門援助部門にて求人票を作成したところ、市内の支援機関より問い合わせがあり、職場実習を経て平成29年より雇用を開始しました。当初は客室清掃を一人で仕上げられる人材を雇用したいと考えており、その際に障がい特性を踏まえた対応に関する不明点を福祉事業所の支援員が現場でサポートしてくれたことで不安が軽減されました。

継続して障がい者雇用に取り組んでいますが、作業を教える際に教える側（現場担当者など）もうまく伝えられない事があるため、支援員のサポートの下、その人に合った教え方のコツを教えていただくと、業務内容をスムーズに引き継ぐことができます。採用前後は特に支援員との連携が重要だと感じています。



ホテルグランテラス帯広  
総支配人  
松浦 正

ここが POINT !

## 障がい者雇用の進め方

1人目の雇用を通して、始めにご本人の作業上の得意な部分（強み）を伺い、実習内容を検討し試してもらうことが重要だと学びました。作業のマッチングのために職場実習は必ず行っています。2人目以降は、それまでアルバイトがスポット的に担っていた作業を組み合わせ、1人の作業として構築し専門化しています。

# ホテルグランテラス帯広

## 制度について

- トライアル …… トライアル雇用助成金
- JC …… 職場適応援助者(ジョブコーチ)



平成 29 年 1 月入社(採用時 48 歳)  
所属：客室清掃  
知的障がい (療育 B)

- 平成 28 年 12 月実習 (3 週間)
- 平成 29 年 1 月採用

仕事の内容：シーツ交換、  
ゴミ回収、清掃



## 雇用の際にした配慮や 体制づくりについて

- ◆様々なシチュエーションでも業務を遂行できるようにしています。例えば、お客様の宿泊状況によって客室清掃が必要かどうかの判断が必要になります。自分で判断がし難い時には、リーダーの指示のもと作業を進めてもらっています。
- ◆欠勤がなく、安定した勤務をしてくれるためとても助かっています。

早いスピードでシーツ交換ができるように意識しています。1 日に何室もシーツ交換をするため、持病のヘルニアを悪化させないように自己管理に努めています。

平成 29 年 5 月入社(採用時 28 歳)  
所属：パブリック清掃  
知的障がい (療育 B)

- 平成 29 年 4 月実習 (1 週間)
- 平成 29 年 5 月採用

仕事の内容：館内清掃  
(大浴場・レストラン・  
ランドリーなど)



## 雇用の際にした配慮や 体制づくりについて

- ◆関係機関と連携して、苦手得意を整理し得意を中心に一人で黙々と進められる作業をパターン化しました。
- ◆困り事があつたときには、現在でも定着支援機関に相談しています。

想定外の仕事で時間がかかった時は、フロントにいる方にその都度相談しています。  
現在も、定着支援機関での相談を続けています。

令和 4 年 8 月入社(採用時 32 歳)  
所属：フロント  
精神障がい (精神 2 級)

- 令和 4 年 8 月頃直接応募
- 令和 6 年 2 月頃パート雇用から  
正社員へ転換

仕事の内容：フロント業務全般



接客時、自分で想定していない急な対応が必要になると混乱してしまうことがわかって  
いるため、対応マニュアルを自分の中でいくつ  
も積み上げています。

## 雇用の際にした配慮や 体制づくりについて

- ◆フロント業務の特殊さがあるとは思いますが、勉強を積み重ね、フロント業務の中心人材に成長してもらいたいと思っています。
- ◆体調不良時には無理せず有休を取得し、休んでもらっています。

## 障がい者雇用を通じて感じていること

仕事はさまざまな判断が必要なことがあるため、作業体制の維持が配慮点と感じています。  
また、悩みや相談事をため込まないために職場以外の相談場所や身近な支援者がいると職場としても安心です。